

宮城県塩釜高等学校

同窓会会報

第12号
編集・発行

宮城県塩釜高等学校同窓会
〒985-0056 塩釜市泉ヶ岡10-1
電話 022 (362) 1011
FAX 022 (362) 0703
<http://塩高同窓会.com/>
責任者 菊地 忠夫
印刷 プリンティングサトー



夕日に映える塩釜高等学校西キャンパス (写真提供: 侑センダイ)



塩釜高等学校同窓会

会長

菊^{きく}

地^ち

忠^{ただ}

夫^お

(17 回生)

10年後を楽しみに!!

令和3年度第12号塩釜高等学校同窓会会報を発行するにあたり、同窓会会員の皆様には益々ご健勝で活躍のごこと、並びに在校生の皆様が母校の学びで有意義な日々を送られていることと拝察いたし心からお慶びを申し上げます。

また日頃より校長先生をはじめ、事務局、理事、監事の方々には本会事業推進に対し、ご支援ご協力を頂きまして厚く御礼と感謝を申し上げます。

母校では遠藤秀樹前校長先生が転任され新たに、黒田賢一校長先生と熊谷崇教頭先生が赴任され、新年度を迎えました。

さて、緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置が適用されるなど、昨年以來の新型コロナウイルス感染症拡大が現在も続いている中、今年2月26日(金)に、母校体育館で同窓会入会式を、小野久子副会長共々出席し挙行いたしました。

ビジネス科9回生78人、普通科275人、合計353人の新たな同窓会会員を迎えました。また、昨年10月27日(水)に開催予定だった創立10周年記念式典が残念ながらコロナ禍により、中止となりましたので、実行委員会にて検討を重ねた結果、全校生の皆様に

10周年記念の品々を製作し、配付いたしました。

①創立10周年記念誌、②スポーツタオル、③塩高オリジナル巾着、④クリアファイル、⑤記念ボールペンの5品です。卒業する三年生には思い出し、一年生二年生の皆様には塩釜高校の10周年の歴史を知り、今後の学校生活に役立てて欲しいと思います。

また、創立10周年に際して塩釜高校に多大なお力添えを頂きました、次の4人の方々には感謝状をお贈りいたしました。土井萬平氏(男子高5回生・旧塩釜高校同窓会会長・前同窓会会長)、小達和子氏(女子高2回生・旧塩釜女子高校同窓会会長・前同窓会副会長)、森邦夫氏(男子高6回生・東京同窓会会長)、西脇久夫氏(男子高6回生・校歌作曲家)。

塩釜高校は開校以來、地域の方々から愛され続けています。平成22年4月8日、入校式、並びに入学式が挙行されて以来11年目を迎えました。「10年ひとむかし」と言われますが、この10年を振り返りますと平成23年3月末曾有の大震災があり忘れることのない教訓となりました。また世界中に拡散した新型コロナウイルス感染症の、この目に見えないウイルスに生命の危機を感じる不安な日々を過

ごしております。

そんな中、全国で5月よりワクチン接種が始まり、やがては終息に向う事でしょう。今、10年を振り返れば「あつ」という間の10年だったと感じます。人生100年時代と言われておりますが、これからの10年先、20年先はどのような年になっていくのでしょうか。母校が創立20周年を迎える頃、在校生の皆様は25歳から28歳を迎えておられる事でしょう。社会人となり、それぞれの道で活躍されておられる頃と思います。

さて、まもなく一年延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。各競技での好成績が期待されますが、各選手達はこの大会に向って永年にわたり練習や調整などに努力を積み重ねた結果が成績や記録に表れます。それが多くの人々に感動を与え、努力が報われるのです。一朝一夕ではない事です。

私達もこれから10年先20年先に向って、明日を信じ夢と希望をもって日々の小さな努力でもその積み重ねが、歳月の流れと共に、やがて夢を大きく実らせた果実の収穫を迎える季節が来ることでしょう。10年後を楽しみに!

皆様は今後益々の隆盛なる前途を開拓していることを期待しております。

ご挨拶



塩釜高等学校

校長 黒田賢一

寄稿

佐藤 郁子

(女子高24年生)

塩釜高等学校同窓会の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に對しまして多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。この4月に校長として着任いたしました黒田と申します。前任は県総務部で私立中・高の担当でした。よろしくお願ひします。

改めて感謝申し上げます。さて、今年は昨年のような全国一斉休校措置はなく、4月当初から十分な感染症対策を講じて教育活動を展開してきております。例えば、入学式は3密を避けるため新入生と最小限の教職員のみ参加とし、同窓会長様をはじめ関係の御来賓の皆様には御出席をご遠慮いただいたほか、保護者には限定ライブ配信とさせていただきます。

今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止により同窓会総会が開かれないため、皆様にお目にかかつてご挨拶することができず大変残念に思っております。昨年は例年の部活動助成金を、感染症対策として校内の環境整備にご援助いただきました。お陰様で全ての教室に加湿器を配備していただき、生徒は整った環境で学習活動ができており、

改めて感謝申し上げます。さて、今年は昨年のような全国一斉休校措置はなく、4月当初から十分な感染症対策を講じて教育活動を展開してきております。例えば、入学式は3密を避けるため新入生と最小限の教職員のみ参加とし、同窓会長様をはじめ関係の御来賓の皆様には御出席をご遠慮いただいたほか、保護者には限定ライブ配信とさせていただきます。

今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止により同窓会総会が開かれないため、皆様にお目にかかつてご挨拶することができず大変残念に思っております。昨年は例年の部活動助成金を、感染症対策として校内の環境整備にご援助いただきました。お陰様で全ての教室に加湿器を配備していただき、生徒は整った環境で学習活動ができており、

今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止により同窓会総会が開かれないため、皆様にお目にかかつてご挨拶することができず大変残念に思っております。昨年は例年の部活動助成金を、感染症対策として校内の環境整備にご援助いただきました。お陰様で全ての教室に加湿器を配備していただき、生徒は整った環境で学習活動ができており、

5月に県教育委員会より令和4年度の募集定員が発表されましたが、本校は360名から320名(普通科1学級減)となります。令和3

本校では、昨年から、この先10年を見据えた、塩釜高等学校のあるべき姿の検討を始めています。地域に愛される魅力ある学校づくりに励んで参りますので、同窓生の皆様には、後輩への期待を込めて様々なご意見を賜りたく存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

一回だけタイムスリップ出来るとしたら、私は躊躇なく高校時代に戻りたい！毎日が楽しく、活き活きと輝いていたあの時代に...

当時の仙台地区・仙塩地区の公立・私立高校は、すべてが男子校と女子校に分かれていて男女共学校はありませんでした。中学とは異なり女子だけだったので、遠慮がなくとも開放的でした。高校生活は、授業？はもちろんですが、球技大会・文化祭・遠足・修学旅行等々...とにかく何事にも皆一生懸命で楽しかったの一言です。

その中でも私の場合、殆どは部活中心の三年間だったことが想い出されます。ハンドボール部に入部し、新しいジャンルの競技にチャレンジすることを選びました。

この頃の将来の夢は体育教師だったため、進路は私大のスポーツ推薦が決まっていました。が、父親の定年退職と重なり反対され大学進学は断念せざるを得ませんでした。就職ならば自分の好きな道を...という事でハンドボールでオファーの来ていた実業団に入社しました。

学生時代とは違い、日中は仕事・夕方から夜十時まで練習・帰省は年二回のみ。叱咤激励は当たり前。練習のきつさや日常所作は桁違いで入部してからの一年間はランニングでさえついていけませんでしたが、辛すぎて何度辞めようと思ったことか！言葉では言い表せないくらいの苦悩の日々を、監督や仲間を支えられ、結婚するまでの約六年を頑張れました。その後、地元に戻ってからはOG会を作り、各大会への参加や現役指導、OG一同による交流会開催などをしたものです。

あの若かりし輝いていた時代が、今までの自分をずっと励ましてくれていたのです。「人生は二者択一」分岐点に差し掛かった時にどちらを選ぶかによって、まったく違う人生に枝分かれしていくものです。現役の高校生諸君は一番輝いている真つ只中にいるのでその輝きに気付かないと思います。今その時が最高なんですよ！頑張れ諸君！！



↑ 佐藤郁子さん



高校当時の練習風景→ (1973年)

後輩たちの未来に 想いを馳せ



寺澤 薫
(25回生・七ヶ浜町長)

東日本大震災から10年、何気ない日常の幸せをようやく掴んだ矢先、今度は、新型コロナウイルスが猛威を振り、再び日常が奪われて久しい今日。懐かしい時代に想いを馳せれば、昭和40年代半ばの多くの若者が街中を闊歩した古き良き時代であり、今でも活気に満ちた本町通り商店街を意気揚々と闊歩した当時が思い出されます。

「自動運転」が目前となり、デジタル社会の進展は留まることなく、私たちの想像を超えて進化し、これまでの生活や価値観を一変する勢いがあります。

これからの時代、スポーツに限らず、若者たちに求められるものは「何を学ぶのか」というより「何が出来るようになるのか」といった未来を考察する視点が必要だと思えます。

私なりに当時を思い出すと、「三種の神器」といえば、「自動車」「クーラー」「電子レンジ」が豊かさの指標？

その一方で、人口減少と超高齢化社会の波は、まったなしで進んでおり、次代を担うマンパワーと人材の育成は急務と言えるでしょう。国内はもとより海外に目を転じて、アジア諸国の台頭は目を見張るものがあります。これから、ますます国際競争社会がヒートアップしていくでしょう。

これまで、文武両道の精神のもと、伝統を継承し、社会や地域の発展に貢献する人材を輩出してきた学び舎塩釜高校。私も同窓の一人として、信頼と期待に応えて活躍する後輩たちの未来の姿に、大いなる希望と期待を寄せ、想いを馳せたいと思えます。

それが平成となるとインターネットが世界を席巻し、「パソコン」「スマホ」・「カーナビ」と変わり、令和となった今は「人工知能AI」・「キャッシュレス」、そして

そのような折、今、日本人選手が海外で活躍していることに、とても勇気づけられます。男子ゴルフの松山秀樹選手のマスターズ優勝をはじめ、大リーグの大谷

結びに、塩釜高校の益々のご隆盛と同窓生の皆様のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げます。また、今回このような貴重な機会をいただきましたことに感謝と御礼を申し上げます。

復興が進んだ七ヶ浜町



若者の活気が戻った
菖蒲田海水浴場



子どもたちに未来を託し、菖蒲田浜に設置したモニュメント「虹のむこう」

創立10周年記念事業について

(教諭 大枝 守)

旧塩釜高と旧塩釜女子高が統合して10年が経過しました。平成30年より同窓会・PTA・教職員からなる実行委員会を立ち上げ、記念事業の準備を進めてまいりました。

記念式典は令和2年10月27日に東京エレクトロンホールにて開催する予定でしたが、コロナウイルス感染拡大のため実施を断念いたしました。記念講演も、ミヤギテレビ「OH!バンデス」で活躍の永峯良氏(塩高29回生)にご依頼申し上げ、快諾をいただきましたが、残念ながら中止となりました。

10周年記念誌は、令和3年2月に刊行することができました。続合後の10年史のほか、男子校・女子校時代のページを設けております。また木村謙氏(塩高18回生)のご寄稿により東京同窓会10年史も掲載しています。

式典・記念講演は中止となりましたが、同窓会入会式後、菊地忠夫同窓会長から生徒たちに対して、創立10周年のご挨拶と記念品を紹介する機会を設けることができました。生徒に配付した

記念品は、10周年記念誌、スボーツタオル、塩高オリジナル巾着、クリアファイル、記念ボールペンの5点です。



(実行委員会事務局・記)

また本校の発展に多大なるご尽力を賜りました、土井萬平氏(塩高5回生・旧塩高同窓会長)、小達和子氏(塩女高2回生・旧塩女高同窓会長)、森邦夫氏(塩高6回生・東京同窓会長)、西脇久夫氏(塩高6回生・校歌作曲者)に感謝状をお贈りしました。創立10周年にあたり、多くの同窓生の皆様からご支援いただきましたことに厚くお礼申し上げます。記念事業の報告とさせていただきます。

収支決算書

自 令和2年4月1日～ 至 令和3年3月31日

宮城県塩釜高等学校同窓会 (単位：円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	実績	備考	科目	予算	実績	備考
経常収入	3,198,100	2,542,631		経常支出	4,267,000	3,190,292	
会費収入	2,492,000	2,492,000	1.2.3年生 (1,069名分)	会議費	750,000	9,000	総会費、理事会、委員会
事業収入	550,000	0	総会懇親会費・御祝儀	広報費	30,000	0	
広告収入	150,000	50,000	同窓会会報広告掲載料	後援費	400,000	85,000	大会参加後援
受取利息	100	631	普通預金利息	記念品費	140,000	72,919	卒業証書ホルダー
雑収入	1,000	0		印刷費	370,000	178,200	総会チケット・同窓会会報・入会のしおり
振替収入	5,000	0		通信費	50,000	8,900	切手
				支払手数料	2,000	124	振込手数料等
				消耗品費	35,000	0	
				旅費交通費	100,000	0	東京同窓会総会参加費
				交際費	50,000	0	東京同窓会総会会費
				慶弔費	10,000	0	見舞金、香典等
				母校助成費	1,700,000	2,224,649	加湿器(全クラス分)・部活動での消毒液等
				負担金	5,000	5,000	県産業教育振興協会
				特別積立金	600,000	600,000	周年記念事業積立金
				雑費	25,000	0	
				会費返金	0	6,500	
前期繰越金	3,977,335	3,977,335		次期繰越金	2,908,435	3,329,674	
合計	7,175,435	6,519,966		合計	7,175,435	6,519,966	

編集後記

国内で新型コロナウイルス感染症が確認されてから一年半が過ぎました。昨年は、塩釜高等学校創立10周年記念大会の開催準備をしまいにしましたが、感染状況によりやむなく中止となりました。これまで、他に類を見ない細菌に世界の国々が予防接種を実施、また、経済、社会、日常生活等すべてに支障をきたしました。「東京オリンピック・パラリンピック」が近づいてきました。東日本大震災からの復興状況を、支援いただいた世界中へ発信し、感謝の気持ちを表すこととなります。しかし、予定していた「おもてなし」はコロナ禍の中、不十分になるのが本当に残念に思います。世界のスポーツの祭典の始まりです。アスリートの方々はコロナ禍でもトレーニングを重ねてきました。この時にかけて、培った力を十分発揮して、頂点を目指すことでしょう。

◇編集に携わった人

広報委員長・平 正美

委員・佐藤政栄門

・三塚 芳恵

・菅野みどり

・伊藤 博章

・佐藤 理

・山中 由美